

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	住吉区
学 校 名	長居小学校
学校長名	長谷川光洋

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・長居小学校では、第6学年127名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校の全国学力・学習状況調査の結果は、国語で全国平均を0.2ポイント上回り、算数は同程度、理科は0.1ポイント下回りました。無回答率はいずれの教科でも全国・大阪市の平均を下回り、国語で1.2ポイント、算数で1.0ポイント、理科で0.7ポイント低いという良好な結果が得られました。これらは、語彙力や言語能力の向上を意識した学習や、落ち着いた環境の中での粘り強い取組の成果と考えられます。今後も、自分の考えを言葉や図で表現する力や、学びを生活に結び付けて考える力を一層育んでまいります。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「(3)我が国の文化事項」「B 書くこと」においては、正答率が全国平均よりいずれも2.5ポイント低い結果となりました。これらはいずれも、言葉を用いて考えを深めたり広げたりする過程に課題があることを示しています。

〔算数〕

「B 図形」においては、正答率が全国平均より6.9ポイント低い結果となりました。図形の性質や構成の仕組みを理解し、根拠をもって考えを説明する過程に課題があることを示しています。

〔理科〕

「エネルギーを柱とする領域」においては、正答率が全国平均より7.9ポイント低く、「地球を柱とする領域」では1.3ポイント低い結果となりました。これらはいずれも、観察や実験の結果をもとに考えを整理し、説明する力に課題があることを示しています。

上記項目以外の区分については全国平均と同程度かそれ以上であり、おおむね学習内容は定着しているといえます。

質問調査より

最も肯定的な「あてはまる」と答えた児童は、全国平均より多い傾向にあります。一方で、質問項目によっては「どちらかというにあてはまる」の回答が全国平均より少なく、そのため肯定的回答の割合が全国平均を下回るものもあります。この結果は、強く肯定する児童とそうでない児童との差がやや大きいことを示しています。児童一人ひとりが自分の成長を肯定的に受け止められるよう、学習や学校生活の支援をさらに充実させてまいります。

今後の取組(アクションプラン)

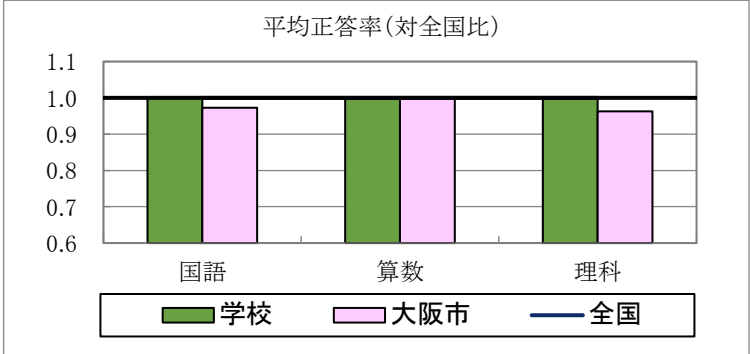
国語では語彙を豊かにし、考えを深めて書く力や文化理解を育みます。算数では図形の性質や構成を多面的にとらえ、根拠を明確にして説明する力を伸ばします。理科では観察・実験を通してデータを整理し、因果関係を考えて説明する力を高めます。また、児童が自分の考えを言葉や図で表し、学びを生活や社会と結び付けられる授業づくりを推進します。

自己成長を肯定的に実感できるよう、振り返りを工夫し、授業改善と学習支援を一層進めてまいります。

【 全体の概要 】

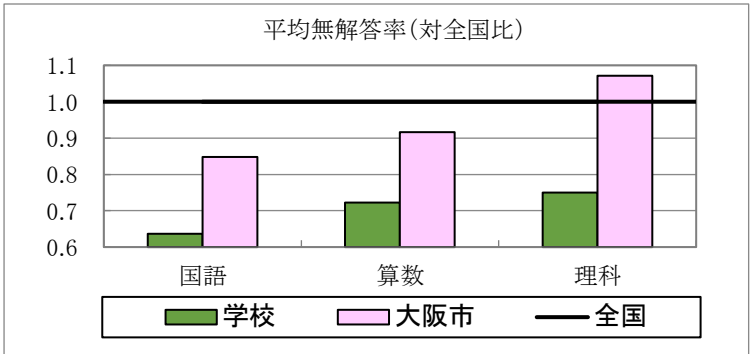
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	67	58	57
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	2.1	2.6	2.1
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

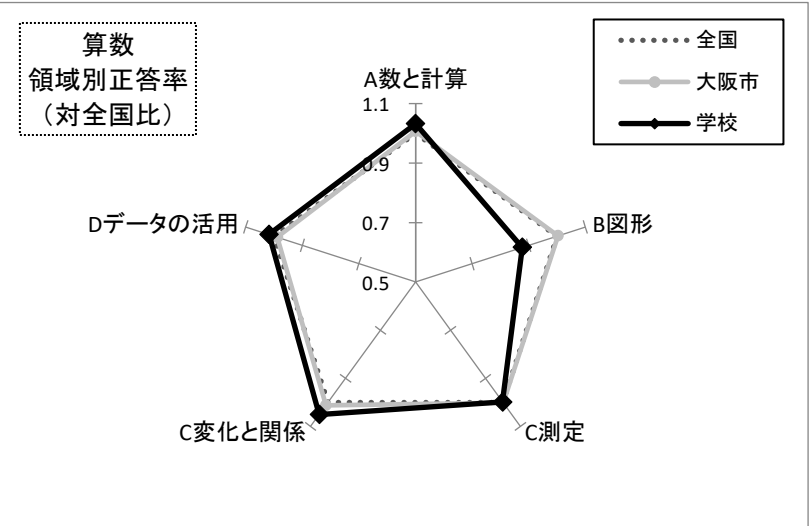
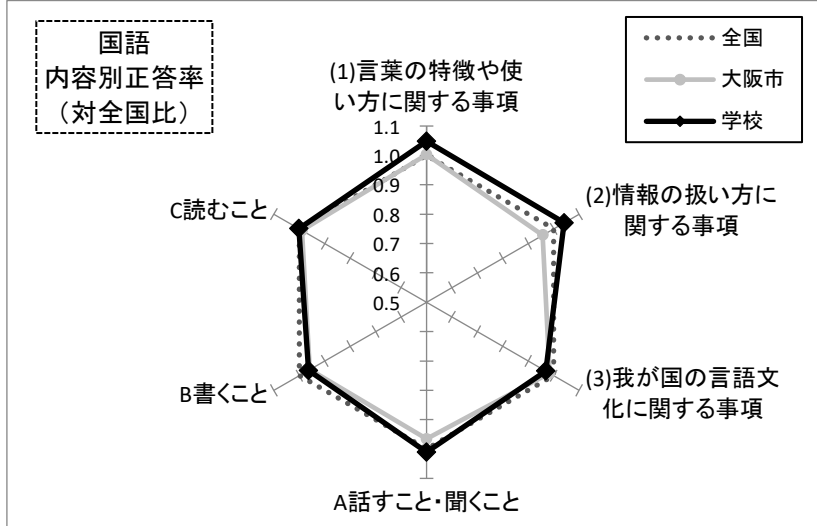
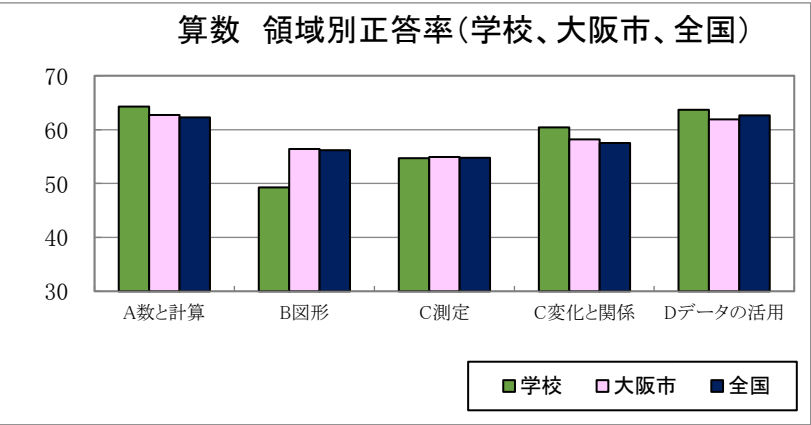
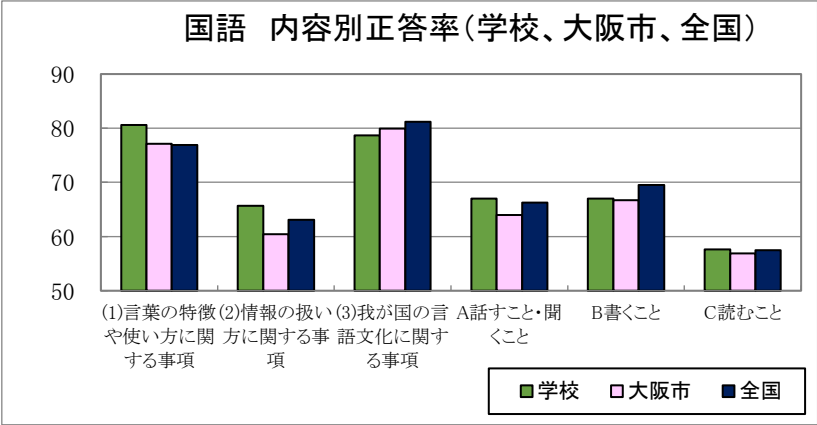


【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	80.6	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	65.7	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	78.7	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	67.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	67.0	66.7	69.5
C 読むこと	4	57.6	56.9	57.5

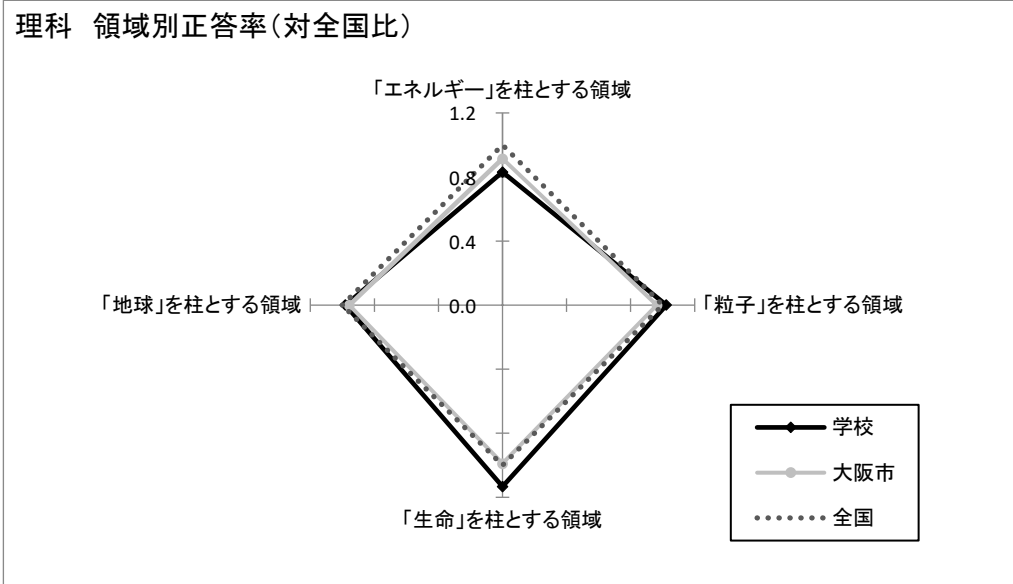
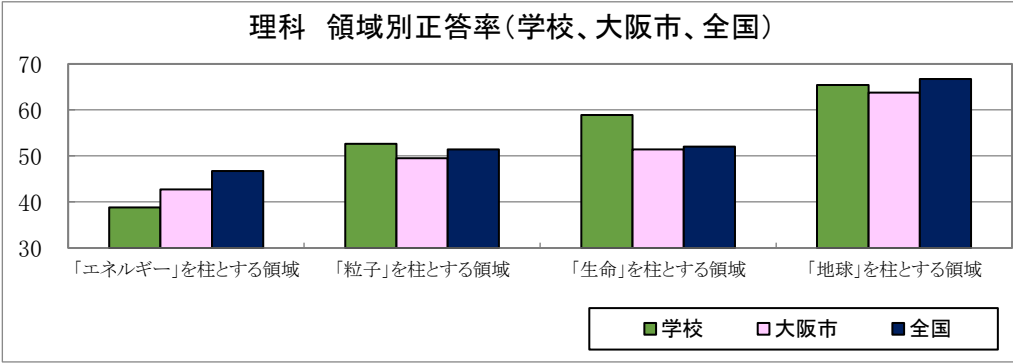
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.3	62.7	62.3
B 図形	4	49.3	56.4	56.2
C 測定	2	54.7	54.9	54.8
C 変化と関係	3	60.4	58.2	57.5
D データの活用	5	63.7	61.9	62.6



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	38.8	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	52.6	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	58.9	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	65.4	63.8	66.7



児童質問より

質問番号
質問事項

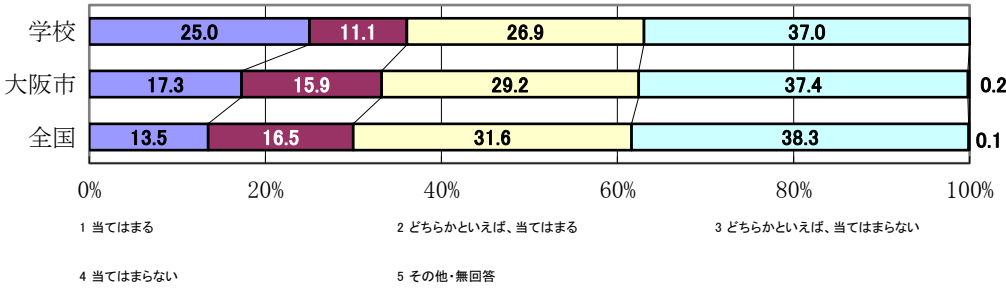
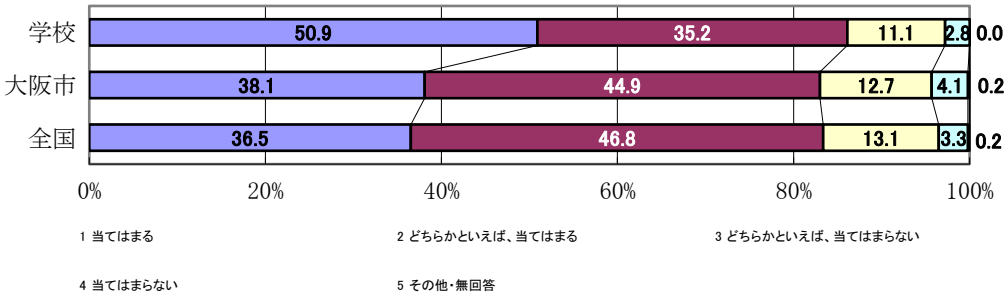
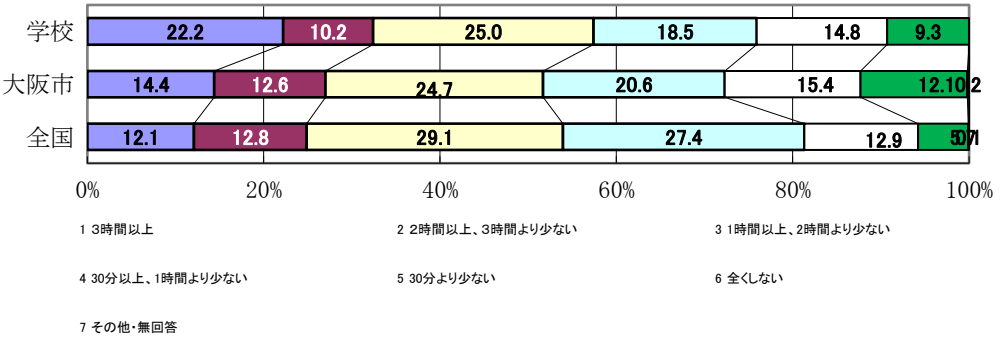
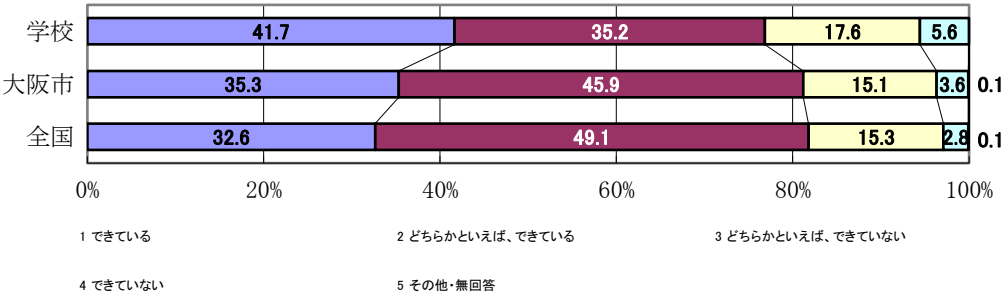
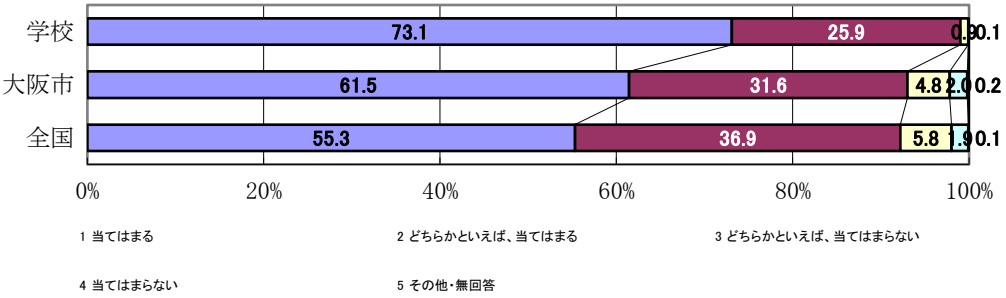
6
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

16
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

17
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

41
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

64
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか



学校質問より

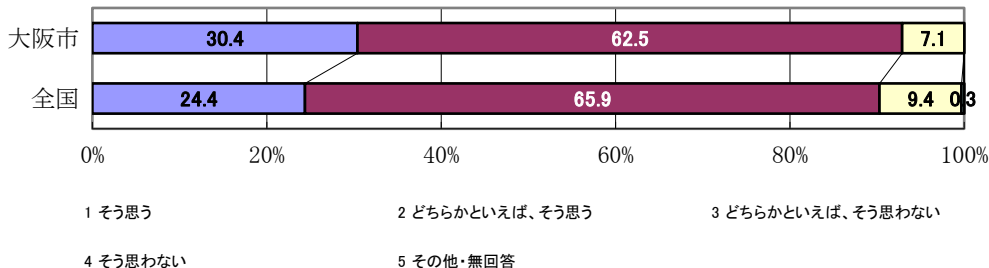
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

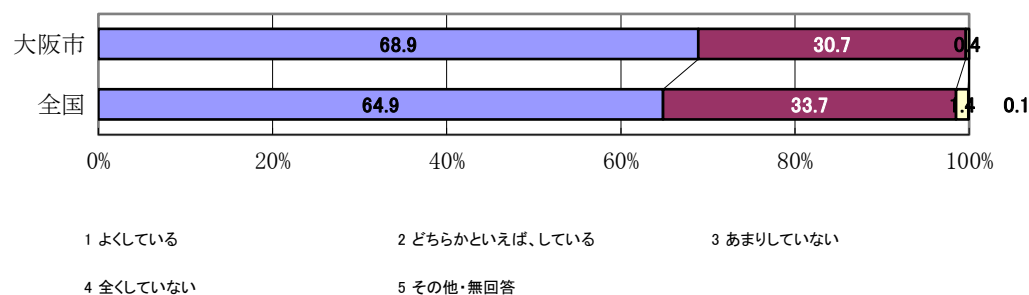
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

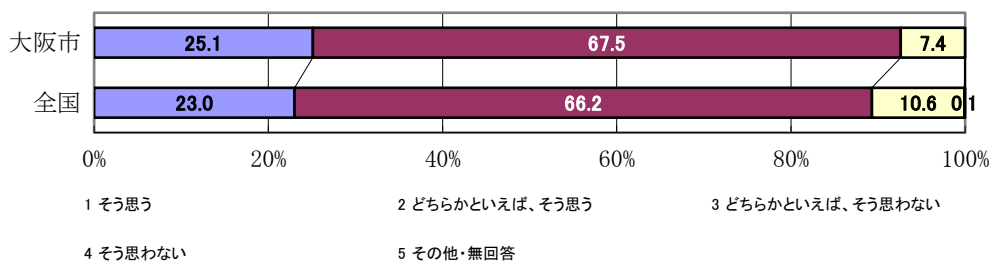
学校 「よくしている」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

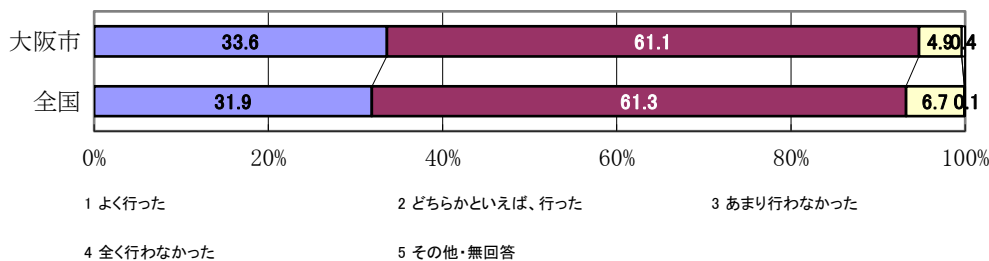
学校 「そう思う」を選択



53

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、課題解決の過程における自分や友だちの学びの深まりや疑問に思ったことを振り返ることができるような指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

